

平成29年度学術情報システム委員会活動報告

1. 会議等の開催状況

(1) 委員会

第1回 平成29年10月24日(火) 於：名古屋大学豊田講堂

(2) レポート作成会議

第1回 平成30年1月26日(金) 於：京都大学附属図書館

2. 平成29年度の活動計画

- (1) 学術情報システム全体を俯瞰するレポートを作成・公開する。
- (2) これから委員会の活動を支援する。
- (3) 本委員会での議論を情報共有しつつオープンな場で進めることができるコミュニティ構築や、人材育成のあり方について検討する。
- (4) 日米 ILL/DD および日韓 ILL/DD プロジェクトの進捗管理を行う。

3. 具体的活動内容

3. 1 委員会

- (1) 学術情報システムに関するレポートの内容・作成方法について検討
- (2) 同レポート作成の体制・メンバー(レポート作成会議)について検討
- (3) 国大図協ビジョン推進にかかる事業計画等について検討
- (4) これから委員会主催の地区意見交換会をサポートすることで、同委員会の活動を支援

3. 2 レポート作成会議(7名の執筆担当、事務局)

- (1) 学術情報システムに関するレポートの構成について検討
- (2) 同レポートの執筆分担・スケジュールについて検討
- (3) 研究者から見た学術情報流通の課題について検討(NII 加藤文彦特任研究員からの情報提供と意見交換による)

3. 3 学術情報システムに関するレポートの執筆と公開

- (1) レポート作成会議による同レポートの執筆(～平成30年4月)
- (2) 委員会としての同レポートの公開(平成30年6月予定)

3. 4 GIFプロジェクトチームの活動[平成29年度まで]

別紙「日米 ILL/DD および日韓 ILL/DD プロジェクト状況報告」を参照。

4. 委員構成

4. 1 学術情報システム委員会

委員長	引原 隆士	京都大学図書館機構長
委員	相原 雪乃	北海道大学附属図書館管理課長（平成30年3月31日まで） 北海道大学附属図書館事務部長（平成30年4月1日から）
	佐藤 初美	東北大学附属図書館情報管理課長
	加藤さつき	新潟大学附属図書館学術情報サービス課長
	森 いづみ	信州大学附属図書館管理課長
	米澤 誠	京都大学附属図書館事務部長
	大西 直樹	大阪大学附属図書館事務部長
	渡邊 俊彦	鹿児島大学学術情報部長（平成30年3月31日まで） 九州大学附属図書館事務部長（平成30年4月1日から）
	小野 亘	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長
事務	鈴木 秀樹	京都大学附属図書館図書館企画課長（平成30年3月31日まで）
	島 文子	京都大学附属図書館事務部次長（兼図書館企画課長）（平成30年4月1日から）
	赤澤 久弥	京都大学附属図書館図書館企画課長補佐

4. 2 GIFプロジェクトチーム（平成30年3月31日まで）

主査	大西 直樹	大阪大学附属図書館事務部長
	相原 雪乃	北海道大学附属図書館管理課長
	河野由香里	北海道大学附属図書館利用支援課相互利用担当
	庄司 冬彦	東京大学附属図書館情報サービス課相互利用係長
	匂坂佳代子	一橋大学学術・図書部学術情報課レファレンス係
	鈴木 秀樹	京都大学附属図書館企画課長
	奥 友香子	京都大学附属図書館利用支援課利用支援掛

4. 3 レポート作成会議

磯本 善男	北海道大学附属図書館管理課係長
堀野 正太	東北大学金属材料研究所図書室総務課図書係長
岩井 雅史	信州大学医学部図書館主査
大西 賢人	京都大学附属図書館学術支援課電子リソース掛主任
野間口真裕	京都大学北部構内共回事務部教務・図書課共通図書掛主任
西森 哲也	大阪大学附属図書館学術情報整備室学術情報組織化班専門職員
藤江雄太郎	神戸大学附属図書館情報サービス課総合・国際文化学術情報サービス係（平成30年3月31日まで） 大阪大学附属図書館利用支援課情報ナビゲート班（平成30年4月1日から）

（別紙に続く）

日米 ILL/DD および日韓 ILL/DD プロジェクト状況報告

1. 日米 ILL/DD プロジェクト

- 1) 「文献複写サービス」参加状況（平成 30 年 3 月 31 日）
 - 参加機関数： 日本側 165、米国等側 119
- 2) 「現物貸借サービス」参加状況（平成 30 年 3 月 31 日）
 - 参加機関数： 日本側 90、米国等側 90
- 3) 日米 ILL/DD 実施状況
 - 平成 29 年度の実施状況は、表 1 のとおり
 - 前年同期に比べ、依頼件数は 76 件減、受付件数は 71 件増
 - 平成 23～29 年度の実施状況は、表 2 および表 3 のとおり

表 1 日米 ILL/DD 実施状況（平成 29 年度）

	依頼件数				受付件数			
	完了	謝絶	その他	計	完了	謝絶	その他	計
文献複写	583	378	0	961	185	459	0	644
現物貸借	137	70	0	207	82	402	0	484
合計	720	448	0	1,168	267	861	0	1,128

表 2 日米 ILL/DD 実施状況の推移（平成 23～29 年度）：日本側依頼

		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
文献複写	完了	1,047	1,005	703	848	598	567	583
	謝絶	611	612	466	516	332	353	378
	合計	1,658	1,617	1,169	1,364	930	920	961
	謝絶率	36.9%	37.8%	39.9%	37.8%	35.7%	38.4%	39.3%
現物貸借	完了	263	240	217	225	184	171	137
	謝絶	175	164	249	141	124	153	70
	合計	438	404	466	366	308	324	207
	謝絶率	40.0%	40.6%	53.4%	38.5%	40.3%	47.2%	33.8%

表 3 日米 ILL/DD 実施状況の推移（平成 23～29 年度）：日本側受付

		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
文献複写	完了	443	302	320	337	248	177	185
	謝絶	538	456	531	466	467	354	459
	合計	981	758	851	803	715	531	644
	謝絶率	54.8%	60.2%	62.4%	58.0%	65.3%	66.7%	71.3%
現物貸借	完了	241	167	218	246	220	109	82
	謝絶	641	590	807	697	755	417	402
	合計	882	757	1,025	943	975	526	484
	謝絶率	72.7%	77.9%	78.7%	73.9%	77.4%	79.3%	83.1%

2. 日韓 ILL/DD プロジェクト

1) 参加状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

- 参加機関数： 日本側 118、韓国側 357
- 平成 29 年 4 月以降、日本側では 3 館減少、韓国側で 24 館の増加

2) 日韓 ILL/DD 実施状況

- 平成 29 年度の実施状況は、表 4 のとおり
- 前年同期に比べ、依頼件数は 10 件減、受付件数は 460 件減
- 平成 23～29 年度の実施状況は表 5 および表 6 のとおり

表 4 日韓 ILL/DD 実施状況（平成 29 年度）

	依頼件数				受付件数			
	完了	謝絶	その他	計	完了	謝絶	その他	計
文献複写	25	9	0	34	2,133	1,620	0	3,753

表 5 日韓 ILL/DD 実施状況の推移（平成 23～29 年度）：日本側依頼

		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
文献複写	完了	53	78	39	52	41	35	25
	謝絶	10	23	12	9	10	9	9
	合計	63	101	51	61	51	44	34
	謝絶率	15.9%	22.8%	23.5%	14.8%	19.6%	20.5%	26.5%

表 6 日韓 ILL/DD 実施状況の推移（平成 23～29 年度）：日本側受付

		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
文献複写	完了	2,214	2,442	2,668	2,719	2,640	2,269	2,133
	謝絶	1,099	1,415	1,645	1,854	1,840	1,944	1,620
	合計	3,313	3,857	4,313	4,573	4,480	4,213	3,753
	謝絶率	33.2%	36.7%	38.1%	40.5%	41.1%	46.1%	43.2%

3. GIF プロジェクトの終了について

平成 14 年から実施している本プロジェクトは、その柱である ISO ILL プロトコルの変更に伴い現行のフレームワークの根本的な見直しが必要となり、平成 27 年に国公立大学図書館協力委員会の下に国際 ILL 検討タスクフォースが設置され検討を重ねていた。

平成 29 年 3 月当該タスクフォースから、後継候補であったエージェント方式が確立できる可能性が低いこと、提供文献の内容分析を行ったところ他のサービスで概ね代替可能であること、GIF に代わる新たなフレームワークを検討すべきであること等が報告され、これを受けて国公立大学図書館協力委員会において協議した結果、平成 30 年 3 月末日をもって GIF プロジェクトを終了するという結論に達した。

この結果を踏まえて、国公立大学図書館協力委員会委員長館から参加機関に対し、平成 29 年 9 月 14 日付「GIF の終了について」、平成 29 年 11 月 8 日付「GIF プロジェクト終了詳細日程について」、平成 30 年 3 月 20 日付「日韓グローバル ILL の今後の運用について」の通知が行われ、平成 30 年 3 月 31 日を持って GIF プロジェクトは終了した。

なお、GIF プロジェクトに関する各種文書等は、国公立大学図書館協力委員会の以下のサイトから公開している。

<https://julib.jp/docs/gifproject>